

奨学終了報告書

2008年9月秋学期から2009年5月の春学期まで埼玉県・オハイオ州スカラシップ奨学生兼親善大使をさせて頂きました小林文と申します。

当初は一人で右も左もわからないところでやっていけるのだろうか？と不安もありましたが、終わってみるとあっという間でした。大変だったことも楽しかったこともたくさんあり私にとって良い経験になりました、大きく成長できた1年でもありました。

昨年の8月に成田を出発し、シカゴ経由でオハイオ州トレド空港に到着後タクシーで留学生対象のウェルカムハウスに到着しました。その後、こちらでお世話になる先生方を訪ねて先生のオフィスへ行ったり、家を探したりしました。住居に関しては、最初は寮に入るつもりでしたが、寮のキャンセル待ちのリストに名前があるということで思い切って家を探すことにしました。先生や日本人の留学生の方に紹介していただいて、前年度の同じ奨学金制度でこちらに滞在していた永澤明子さんと同じ家に住めることになりました。一人で来て、何もわからない私を色々助けていただいた方々には何とお礼を言って良いのかわかりません。本当に感謝しています。

8月の末には学校のオリエンテーションが始まり、4日間で学校の設備の説明を聞き、食堂が解放されました。

1日目には受付を済ませるとペンやノートセットが配られ、その後キャンパスツアーや、IDの取得、TOEFL受験等がありました。買い物も予定されていました。周りには世界中の多くの国からやってきた学生や先生方をみると私はアメリカに来たのだと再確認させられました。



2日目は、朝食にも食堂が解放されました。午前中にTOEFLのエッセーと銀行口座の開設時間が設けられ、昼食を挟んでアメリカ国内の旅行の際の注意事項や他の外国への旅行をビザについての諸注意もあり、そして文化の違いについての講義もありました。多くの人が集まる場所ならではだと思いました。また、夕食の前には学校の職業探しの時間も設けられていました。夕食を食堂でとったあとはゲームルームの解放や、さまざまなイベントがありました。



3日目には、学校から一人一人に割り当てられるメールアカウントの作成をし、昼食をはさみ時間割の作成がありました。それをもとに教科書を揃えました。

4日目は最終日で、朝食後に入学式が行われました。新入生は体育館で学長のお言葉を聞き、一斉に外に出て校門を潜り、やっとここで学生として入学した気分になりました。その後、学長宅でのウェルカムセレモニーが行われました。軽食と飲み物が並び、新入生同士が話をしたりしていました。



この4日間を通して大学のことがよくわかります。

私の1週間の時間割は、

秋学期

Hours	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00		9:30~10:45		9:30~10:45	
9:50		Communi- cation		Communi- cation	
10:00	Reading		Composition		Composition

10:50					
11:00 11:50	Composition	Reading	Composition	Reading	Composition
12:00 12:50					
1:00 1:50	Communi- cation				
2:00 2:50	Grammar		Grammar		Grammar
3:00 3:50	Listening		Listening		Listening

※Wednesday 5:00～TOEFL 対策講座

春学期

Hours	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00 9:50		9:30~10:45 Communi- cation		9:30~10:45 Communi- cation	
10:00 10:50	Reading		Composition		Composition
11:00 11:50	Composition	Reading	Composition	Reading	Composition
12:00 12:50		Spanish		Spanish	
1:00 1:50					
2:00 2:50	Grammar		Grammar		Grammar
3:00 3:50	Listening		Listening		Listening

ところで、私は今英語を勉強していましたが、授業のほかにアメリカ人の学生と英語で話す時間もありました。事前に申し込みをし、だいたい放課後5時～9時まで1時間刻みでコンピュータールームでアメリカ人の学生と話をすることができます。ここでは日常の話やアメリカの行事のことを話したり、様々な国の文化の違いについてはなしたり、時々ゲームをしたりしています。学校の授業とは違って、友達感覚で話せるのでまた違った雰囲気

気でアメリカについて知ることができます。

また学校のスポーツ観戦では、スーパーボールの観戦でスーパーボールは学校のホールで大きなスクリーンにゲームの中継を映し、無料のピザやサンドイッチに飲み物などが提供されました。今年のゲームではフィンドレー出身の選手が出場するというので、友人たちを一緒に行ってみたりしました。

大学のチームはフットボールやトラックにバスケットの試合などがあり友達と見に行ってみました。女子と男子の試合が行われ、試合の合間には大学のチアガールがブラスバンドの演奏で、Tシャツを配ったり、ショーをしたりしていました。



秋学期は新学期ということもあり多くの学生が友達づくりをしていました。また、大学では多くのイベントが毎週あります。特に多いのは食べ物が配られるものです。日本の大学では見られない光景だと思います。配られるものは、アイスクリームが多いようですが、バーベキューチキンやピザもありました。食べ物の他には T シャツやペン、学校の名前入りのグッズという時もあるようです。

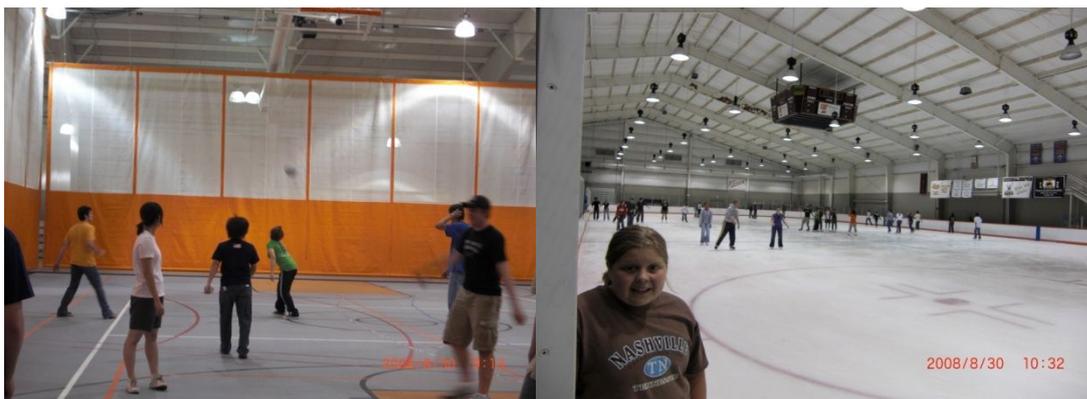


また、時々映画の無料チケットや、バスケットやアメリカンフットボールの試合のチケ

ット、交響楽団のチケットなどがもらえる時もあります。大学の ID をカウンターで見せてチェックをしてもらおうと、チケットを受け取ることができます。



その他のイベントとして、大学で開講されている日本語授業の学生たちとの交流です。こちらの日本語の先生の企画でゲームをしたり、ドッジボールをしたり一緒に大学のアイススケートに行ったりしました。



また、授業の一環として先生の家でパンケーキを焼いてクラスメートと一緒に朝食を食べました。ホットケーキを作っていることと私のクラスメートと先生です。



フィンドレーでは夏が短く、冬が長いので10月の終わりには日に日に寒さが感じられるようになります。10月は秋休みのような連休が4日間あり、初めてインターナショナルスチューデントオフィス（留学生をサポートしている事務所）の主催で、イベントが企画されます。買い物やボーリング大会などです。クラスや英語のレベル関係なく多くの学生と過ごすことができました。また、遠足のようにとても楽しいです。

そして、私がここに来て以来の大きなイベントが学校のジムで行われました。大統領候補のジョン・マケイン（John McCain）氏派の副大統領候補のサラ・ペイン（Sarah Palin）さん本人が演説にやってきました。私の先生は、あなた達留学生はオバマ氏派かマケイン氏派を気にすることなく、経験としてこういったイベントに参加することに意味があると言ってくれました。このとき、サラさんは副大統領か大統領にまでなるかもしれない人がそばに来た時に見ておくのはアメリカの選挙を自分の目で見て肌で感じることをのける良い機会だと思い行ってみることにしました。とても寒い中1時間近く並び、金属探知機などのセキュリティーを通りました。途中、いろいろな選挙応援グッズ（Tシャツ、バッジ等）も販売されていました。



また、アメリカでは毎月のように季節の行事があります。ハロウィーンはダウントウンでパレードが開かれ、子どもたちはお菓子目当てにスーパーの袋を持って一生懸命お菓子を集めていました。



学校では、パンプキンランタンをみんなで作りました。アメリカ人の友人がカボチャ種を集め、それをオーブンで焼いてパンプキンパイとパンプキンシードにして一緒に食べました。



他のイベントはサンクスギビングです。大学内でも留学生対象に伝統的なサンクスギビングのランチが用意されます。ターキー（七面鳥）を丸ごとオーブンで焼いたものや、マッシュドポテト、クランベリーソース、サツマイモとかぼちゃパイです。アメリカでは、家族が集まり、伝統的な食事を囲んでランチやディナーを楽しみます。次の行事は、クリスマスです。ご近所でも、学校でもクリスマスツリーやイルミネーションが飾られクリスマス一色になりました。

その後、期末テストに突入しました。語学学校の学生たちは進級用にテストを受けます。全部で 5 教科でした。テスト週間用の時間割りでテストを受けなければならないので気をつけなければなりません。この時期は、大学生や大学院生もテスト週間で、12 月に卒業する人は卒論の期限に追われました。あっという間にテスト週間が過ぎてみるともう卒業式です。F i n d l a y 大学では 12 月と 5 月の 2 回卒業式が行われます。学校の体育館が卒業式用に飾られ、学生たちの家族が多く集まっていました。卒業生は映画で見るような式用のガウンと紐の飾りのついた帽子のようなものを身につけます。一人一人名前を呼ばれ、卒業証書を受け取ると壇上でこの紐の位置を右から左へ自分で変えます。式自体が終わると、みんな外に出て入学当時門を入った場所へ行き、今度は門を出ていくということを行います。

年が明けて、フィンドレーの冬の寒さは一層厳しくなりました。寒さの中で気づいたことは人生で初めて鼻の中が凍りました。何とも言えない感覚です。これもフィンドレーに来たからこそ体験できたことなのかなと思っています。

このころ日本語クラスを受けている学生と、日本人の留学生とで簡単な新年会と成人式を行いました。今年成人する学生がみんなの前に出て一言言った後に全員で書初めをしました。その後、みんなで餅を作りました。何人かのアメリカ人の学生は初めて食べたと言っていました。おいしかったせいか、あっという間になくなってしまいました。日本人の学生も日本の味を懐かしそうに楽しんでいました。

3月には春休みがありました。前後土日を挟んだ1週間で、約10日間ありました。私は、同じ家に住んでいた福井県の奨学生の方とニューヨークとワシントン DC を旅しました。初めてのニューヨークということもあり待ちきれませんでした。デトロイトの空港から約1時間半でニューヨークに行くことができます。また、現地では地下鉄を使って観光することができます。日本にいるときは何気なく使っていた電車や地下鉄も、オハイオ州のフィンドレーにはないので、とても懐かしくもあり興奮しました。各駅では何人かの人が楽器を弾いたりしています。また、観光客が多いせいか地下鉄の地図を広げていると皆さんが声をかけてきてくれます。観光はタイムズスクエアや自由の女神、チャイナタウンやミュージカル鑑賞などをしました。ニューヨークでは日本の食材を始め多くの国の食材が揃っています。また、多くの人種の人たちが住んでいるので多くの言葉が飛び交っていました。雰囲気としてはどこか東京のような面を持ちつつも違う一面もありここに惹かれる人が多い理由が少しわかったような気がしました。最後の週末はワシントン DC へ行きました。ホワイトハウス、国会議事堂、独立記念のモニュメントやリンカーンの像などを見て回りました。ここでも電車やバスがあり、交通手段に困ることはありませんでした。

フィンドレーに戻ると年中行事のインターナショナルナイトのダンスの練習が始まりました。日本人の学生はソーラン節と東京音頭を踊ることになりました。インターナショナルナイトとは、世界各国から留学している学生がアメリカ人の学生や地域の人々に自分の国を紹介する日です。そして、私が所属したBSU (Black Student Union) 主催のファッションショーもあるのでとても楽しみです。

奨学金をいただいてオハイオ州に留学し、早いもので最後の月になった頃、日に日に友人との別れや最後の2つの大きなイベントなどで毎日複雑な気持ちになりました。しかし、ファッションショーもインターナショナルナイトも大成功し、とても思い出に残りました。ファッションショーではモデルスカウト係となり、日本人の留学生はもちろんのこと、世界各国の学生に参加してもらうことができました。各国の学生はほとんどが民族衣装で参加してくれました。日本人学生は浴衣を着ました。各国の民族音楽やダンスを織り込みながらショーの流れを決めていきました。また、当日は世界各国の料理も用意されました。しかし、仕出しを頼むために日本食を作る技術がないということで日本食は残念ながら用意することができませんでした。終わってみるとあっと今の出来事でしたし、多くの友人ができました。言葉がうまく通じない分、何ができるかを考え動けたことが良かったのかもしれません。これもみんなの協力があって出来たものだと感謝しています。



同じ週の金曜日にはインターナショナルナイトが催されました。朝から準備をし、午前中は基本的に展示の時間でした。展示では各国ごとにブースが割り当てられ、国を紹介していました。日本のブースでは、学生は浴衣を着ました。展示品は芋版、昔のおもちゃ、習字、パネル展示、新聞紙で作った兜の小学生への配布をしました。午後は、各国の食事が少しずつ配られ、試食できました。日本食は焼きそばとちらし寿司でした。その後、各国の紹介としてダンスが披露されました。日本は1番目でしたので緊張しました。最初にソウラン節を披露し、東京音頭は他の国の学生を巻き込んで一緒に踊りました。



そして、最後はまた期末テストです。もうこれが最後のテストだなんて思うと、少しさみしくもなりました。無事にテストも終わると5月の卒業式です。友人数人が卒業するということで、見に行ってみました。12月は寒かった卒業式も5月は新緑や色鮮やかな花が咲く中で行われ、とてもきれいでした。式後は、友人宅での食事会に呼んでいただきました。家族がそろって卒業生を囲み写真を撮ったり、食事をしました。



最後に、この留学を通して多くの経験や成長、かけがえない出会いをすることができました。向こうの学校での先生方にも大変お世話になりました。外国から来た学生一人一人に温かく接し、根気強く教える姿は、今後私が教師を目指すにあたり良い影響となりました。埼玉を代表してフィンドレーで私が出来ることの精一杯のことができたと思っています。この経験や出会いを通してこれからも自分が成長できると思います。今回、埼玉県・オハイオ州スカラシップ奨学生兼親善大使をさせて頂き本当に感謝しています。応援し、支えてくださった方々本当にありがとうございました。この奨学金で多くの方がこれからも外国で学べることを願っています。